

TOTO

## シングルレバー混合栓

TKF32U型  
TKJ32U型  
TKJ32UG型

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

## 安全のために必ずお守りください

取付けの前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

- この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。



注意

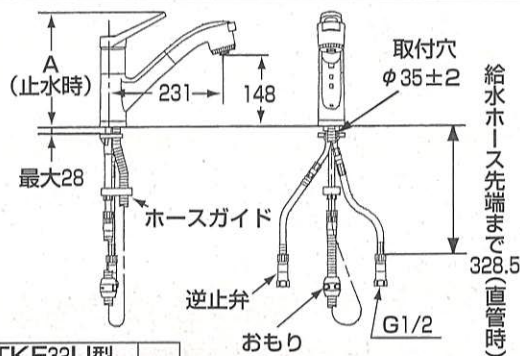
この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があります。を示しています。



注意

- 湯水を逆に配管しないでください。  
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
- 凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。  
凍結破損で漏水し、家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

## 完成図



A寸法	TKF32U型	228
	TKJ32U型	228
	TKJ32UG型	233

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

## (2)貯湯式給湯機と組合せる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要水圧…0.05MPa  
最高圧力…0.75MPa

給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

## 2. 給湯温度

- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- 給湯温度は最高85℃まででお使いください。
- 電気温水器ご使用の際は、給湯温度を85℃以下に調節してください。

85℃以上でご使用になると、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、漏水のため家財に損害を与えるおそれがあります。

## 3. 湯・水を逆配管しないでください。

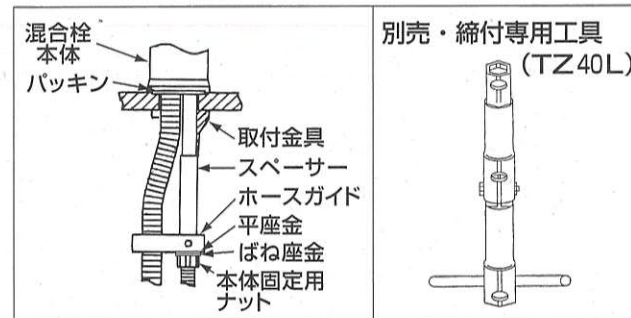
給水ホースには○ラベルを、給湯ホースには⊕ラベルを張付けています。

なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

## 4. 水勢調節や保守点検のため、止水栓(別途手配)を必ず取付けてください。

- 混合栓本体を本固定してください。通水管に取付金具、スペーサー、ホースガイド、平座金、ばね座金、本体固定用ナットの順に差し込み、別売のナット締付工具(TZ40L)で確実に締め付けてください。

- (注)給水・給湯ホースのゆるみ防止のため給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。  
※混合栓本体を固定する際、本体下のパッキンの取付位置をまちがわないように注意してください。  
※混合栓本体を固定する際、取付穴が水栓本体の中心にくるように取付けてください。



## 3. 給水・給湯ホースの施工上の注意点

- 給水・給湯ホースを逆に使用しないでください。
- ホースがねじれないように配管ください。  
ホースがねじれて配管されますと、加圧した際ホースを取付けたナットのゆるみの原因となります。
- ホースの折れに、ご注意ください。  
ホースを最小曲げ半径(60mm)より小さく曲げて使用しますと、ホースが折れることがあり、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。施工時には、最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げないように、ご注意ください。



# 使用条件

## 1. 使用水圧

(1) 瞬間型給湯機と組合せる場合

給水圧力 { 最低必要水圧… (表参照)  
最高圧力…0.75MPa

<設定条件>

- ・レバーハンドルは全開
- ・吐水温度：38℃
- ・給湯配管長さ：5m
- ・給湯機が着火する下限の圧力とする。
- ・吐水は整流吐水
- ・水温の高い(25℃)夏期に着火させることを想定。
- ・能力手動切替タイプの出湯温度は最高温度に設定。
- ・比例制御タイプの出湯温度：60℃

器具入口部における最低必要水圧 (MPa)

給湯機タイプと号数		最低必要水圧		
比例制御タイプ	能力手動切替タイプ	12号	A+0.6	
	TOTO	10号	0.11	
		カスタム		16号
		制御方式		20号
	トリコン	16号	0.08	
		制御方式		20号
		(トリコン		24号
	・コンタクト	アクティ	0.06	
		・アクティ)		スーパーアクティ
	TOTOハイトリコン	32号	0.08	
		制御方式		21号
		24号		0.06
TOTO		16号		
コマンド	24号	0.07		
	TOTO		21号	
	ハイコマンド		24号	0.06

注) 表中のAは給湯機の最低作動水圧を示します。

(比例制御タイプにはこの数値が含まれています。)

※能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。

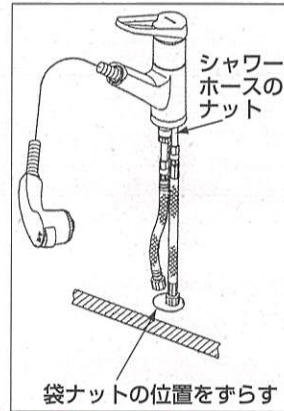
# 器具の取付け

## 1. 給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

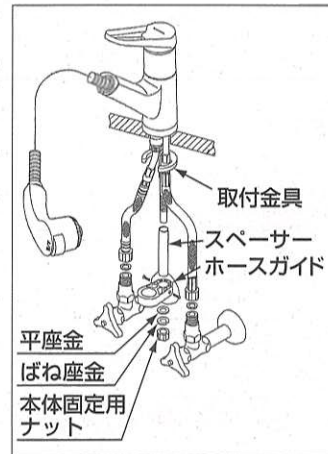
## 2. 混合栓本体の取付け

(1) 混合栓本体をカウンターへ取付ける際、給水・給湯ホースの袋ナットおよびシャワーホース取付ナットを同じ位置にして、カウンターの穴へ差し込もうとすると、ナットが穴に当たり、入りません。ホースの袋ナットの位置を図のように上下に少しずらし、シャワーホースを十分に引出し図の位置にナットがくるようにして差し込んでください。



(注) この時、ホースを必要以上の力で曲げて折らないよう、注意してください。万一折れた場合は、指でつまんで元どおりにしてください。

(2) 混合栓本体が正面を向くようにし、本体固定軸兼通水管に取付金具、スペーサー、ホースガイド、平座金、ばね座金の順に通して本体固定用ナットで仮固定してください。

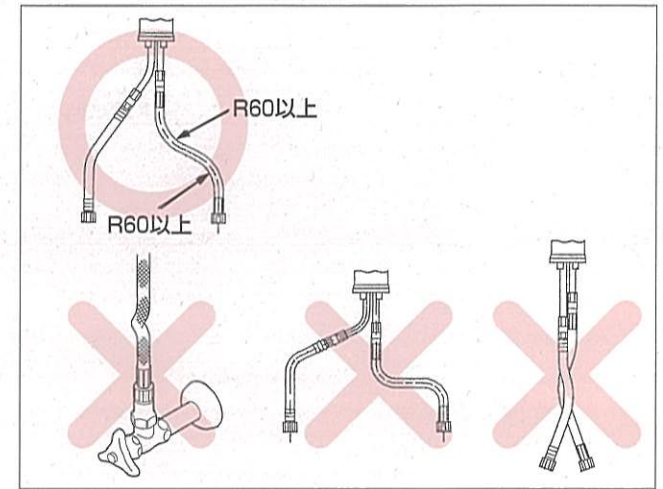


(3) 逆止弁(寒冷地用の場合はソケット)を止水栓に本固定し、給水・給湯ホースを逆止弁に接続してください。

(4) 金具本体端面から極端に屈曲して、施工しないでください。

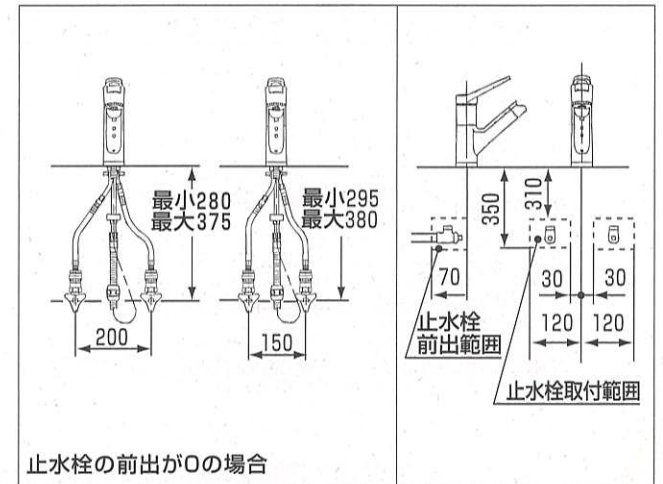
(5) ホース同士の不要な接触は避けてください。

外部補強層の磨耗による外傷でホース性能の劣化の可能性ありますので避けてください。



## 4. 給水・給湯ホースの施工について

このホースの施工については、図に示す条件又は範囲内の止水栓位置にて、施工が可能です。

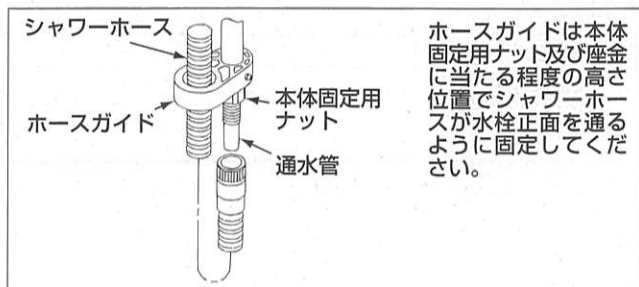


止水栓の前出が0の場合



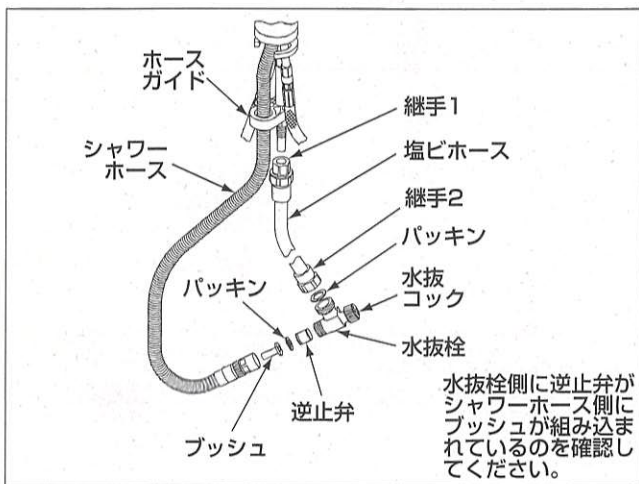
## 5. ホースの取付け (一般用)

- (1) ハンドスプレーを本体にセットし、シャワーホースをホースガイドの穴に通してから通水管に接続してください。

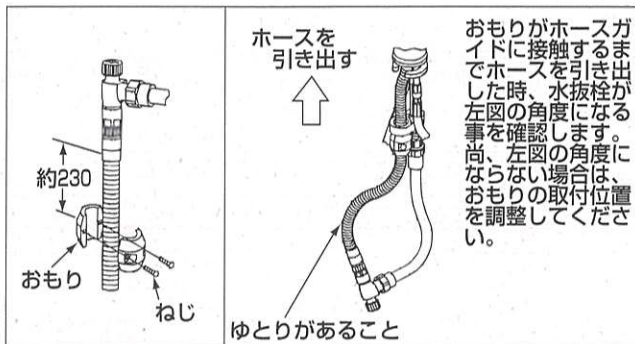


## (寒冷地用)

- (1) 継手1を通水管に接続します。  
 (2) 継手2を水抜栓に接続します。  
 (3) ハンドスプレーを本体にセットし、シャワーホースをホースガイドの穴に通してから水抜栓に接続してください。



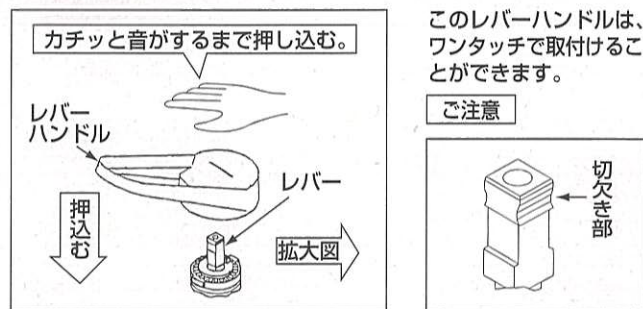
## (寒冷地用)



## 7. 水受けトレイの取付け

水受けトレイは万が一ホースの伝い水がキャビネット内に落ちた場合の受け皿となります。キャビネット床面のごみ、ほこりを取り除いた後、水受けトレイ底面の接着テープの紙をはがしてキャビネット床面に強く押しつけて固定してください。できるだけ混合栓本体の真下に設置してください。

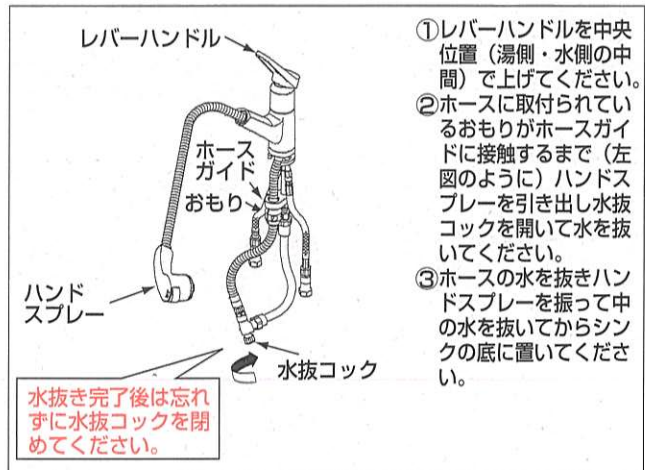
## レバーハンドルの取付要領



レバーハンドルとレバーの切欠きとの方向性に注意してください。  
 正面から見てレバーの切欠きは、両サイドにあります。万一方向をまちがえて取付けた時は、ハンドルを一度引抜いて方向を合わせて再度押込んでください。最後に、レバーハンドルが容易に抜けないことを点検してください。

## 寒冷地の水抜方法

寒冷地用の場合は、器具の水を抜くため、ホース部に水抜コックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作とあわせて次の要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜方法をご指導ください。



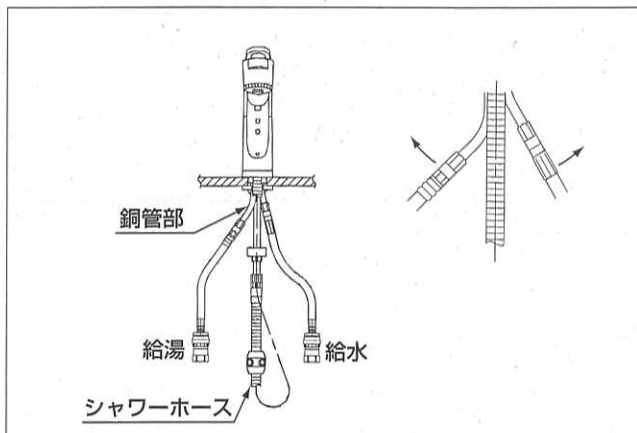
- ①レバーハンドルを中央位置(湯側・水側の中間)で上げてください。
- ②ホースに取付られているおもりがホースガイドに接触するまで(左図のように)ハンドスプレーを引き出し水抜コックを開いて水を抜いてください。
- ③ホースの水を抜きハンドスプレーを振って中の水を抜いてからシンクの底に置いてください。

## お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. ふだんは柔らかい布でふき、ときどきミンソ油やカーワックスなどをしみこませた布でふいてください。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意してください。
2. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないでください。
3. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。

- (4)ホースを取付けた後、ハンドスプレーを引出し、シャワーホースに引っかかりなどなく、スムーズに引出せるか確認してください。  
シャワーホースがスムーズに動かないときは、次の要領で調節してください。



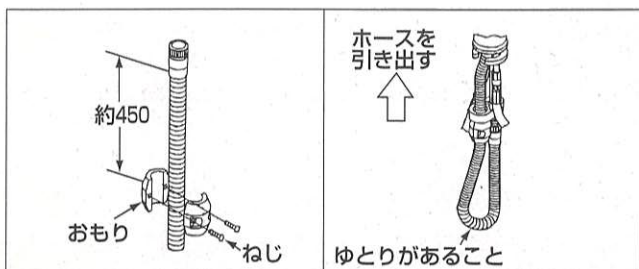
※給水・給湯の銅管部を左右に広げて、シャワーホースの通る空間を確保してください。

※シャワーホースがスムーズに動くのを確認してください。

#### 6. おもりの取付け

おもりは、ハンドスプレーの納まりをよくするためと、引き出したときのストッパーの役目をします。図の位置にしっかりと取付け、スプレーをいっぱいに出した状態でホースにゆとりがないときは、おもりの位置を適当にずらしてください。

(一般用)

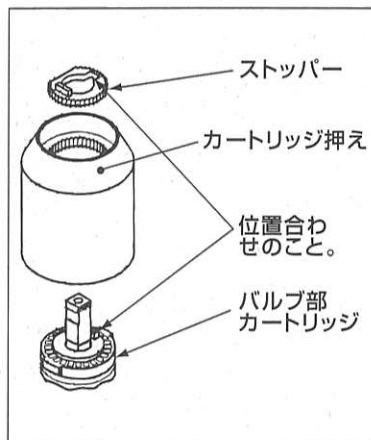


#### 点検時の注意

カートリッジ押えは、手締めにて締め付け、**工具は使用しない**てください。

再セットされる際に、ストッパーを組込む時は、カートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押し込んでください。

その際カートリッジ押えの内側の歯とストッパーの外側の歯が合わない時は、カートリッジ押えを締め込む方向にて歯を合わせるように調整してください。



## 使用上の注意

この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しております。

レバーハンドルを速く操作しようとする、抵抗感が発生し重く感じる場合がありますが故障ではありません。

レバーハンドルがロックして、水が止まらなくなった場合は、一度全開にして、再度ゆっくり閉めてください。

#### ご注意

バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、**絶対に分解しないで**ください。

再生紙を使用しています。

※同梱の施工説明書は、必ずお客様にお渡しください。